



株式会社NITTAN (6493)

個人投資家向け会社説明会

2024年3月1日

代表取締役社長 リ テーファン
李 太 煥

0. 講演者プロフィール



■ 講演者

役職：代表取締役社長

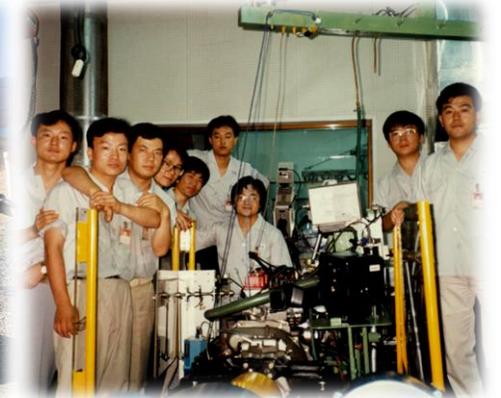
氏名：李 太煥 (リ テーフアン)

生年月日：1964年12月1日 (59歳)

出身：大韓民国 (ソウル市・江南地区)



趣味のバイク



KIA自動車時代

NITTANとの縁について “お客様からNITTAN社員へ”

- ・ 1988年 東海大学工学研究科修士課程修了
- ・ 1988年 KIA自動車中央研究所ガソリンエンジン設計部に入社
- ・ 1990年 Valve Train設計担当、'92年から課長代理になる
- ・ 1993年頃 バルブリフター設計及びメーカー選定のため NITTAN訪問
- ・ 1994年～1995年 NITTAN製 バルブリフターの評価及び採用承認
- ・ 1995年 KIA自動車の退社を決め、日系企業への転職を考える
- ・ 1995年3月 NITTAN社員として、韓国現地で採用される
- ・ 2007年6月 韓国日鍛からNITTANへ転籍し、現在に至る

1部： NITTAN ってどんな会社？

2部： 中長期経営ビジョン

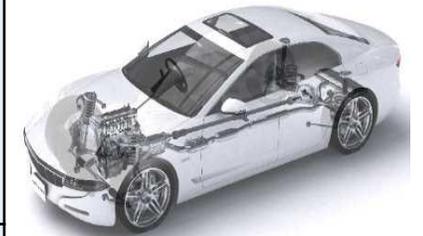
3部： 業績動向

4部： 株主還元

1-1. 会社概要



本社所在地	神奈川県秦野市、東京都新宿区（二本社制）
国内製造拠点	神奈川県秦野市、山口県山陽小野田市
設立	1948年11月10日 前身の恩加島鉄工所は1924年創立(100年企業) 日本で初めてエンジンバルブの量産化に成功したメーカー
資本金	45億3,054万円（2023年3月期）
年商	連結：418億円（2023年3月期）
従業員数	2,469名（国内：700名、海外：1,769名）
人的資本 （国内拠点）	平均年齢：44.52歳
	平均勤続年数：19.68年



1-2. 国内工場の所在地（神奈川県秦野市）の紹介



NITTAN・本社工場

水無川と桜並木

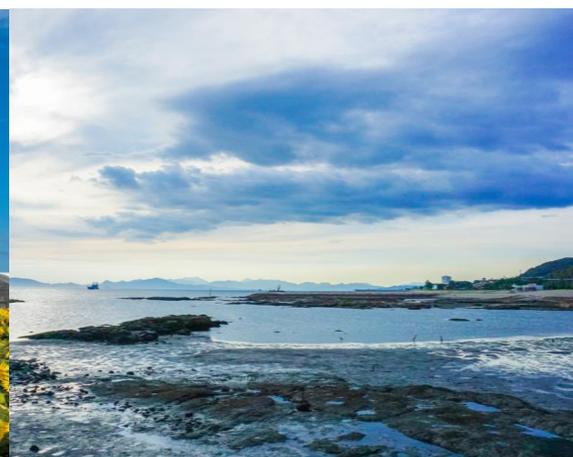
丹沢

NITTANパークおおね

秦野市の基本情報

神奈川県湘南地域北部に位置し、人口は16万人で、環境省の「名水百選」に選定されています。丹沢とヤビツ峠が有名で、登山客とヒルクライムの聖地として、多くの人に親しまれている。東名高速東京インターから40分程度、小田急線で新宿からロマンスカーで60分の距離にございます。当社では秦野地域への貢献のため、複合スポーツ施設である「おおね公園」のネーミングライツを取得しました。「NITTANパークおおね」として地域の方々に親しまれています。

1-3. 国内工場の所在地（山口県山陽小野田市）の紹介



NITTAN・山陽工場

花の海

きららビーチ焼野

竜王山から見た工場群

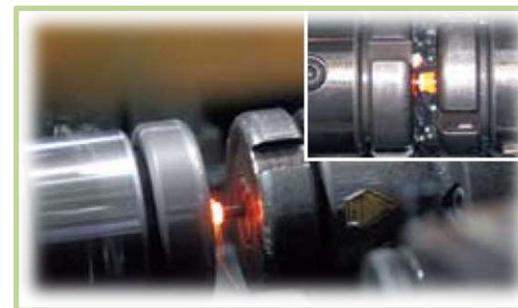
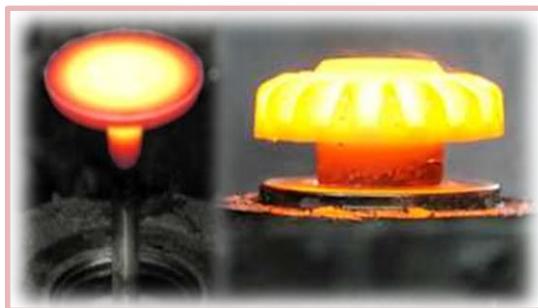
山陽小野田市の基本情報

瀬祭で有名な山口県の南西部に位置し、人口6万人の豊かな自然に恵まれた市です。

秋吉台・秋芳洞、角島・角島大橋、関門海峡、唐戸市場などの有名観光地にも隣接しています。

交通の面では、中国自動車道、山陽新幹線が通っており、山口宇部空港も近く、利便性が高いです。

ちなみに、イカ刺しが美味しいです。(醤油は濃口)



鍛造技術

高温に熱した金属をプレスし
金型成形する鍛造加工法

盛金技術

要求される性質を持つ
他の金属を溶融して部品の
必要部位に溶着させる工法

接合技術

異なる性質をもつ金属を
一体化させる工法

加工技術

所定の形状や性質に金属を
仕上げる工法

■この4つのコア技術を駆使し、NITTAN特有の製品を供給している

1-5. 当社のルーツ

設立年度：1924年



恩加島鉄工所（大阪市）

柴柳新二が
「日本の鍛造業を立派な
ものにしたい」との志を持って設立

1934年に西ドイツから
電気アプセッターを買い入れ、
日本初のエンジンバルブの量産化

設立年度：1937年



日本鍛工株式会社

柴柳新二が
日本鍛工株式会社を設立し、
恩加島鉄工所を合併

1938年川崎工場設立（現：(株)シンニッタン）
1941年尼崎工場設立（現：日本鍛工(株)）

設立年度：1943年



日本鍛工株式会社 秦野工場

日本鍛工(株)が
秦野工場を設立

航空機用エンジンバルブ
の製造を目的に設立
(現在は製造していません)

1-6. 当社の成り立ち

設立年度：1948年



日鍛バルブ製造株式会社
⇒ **日鍛バルブ株式会社**
(商号変更：1961年)

**企業再建整備法による分離に伴い、
秦野工場が独立**

日本鍛工(株)の「日」と「鍛」を引き継ぎ、
主力製品であるエンジンバルブの
「バルブ」を繋げた社名とした

2022年～現在



株式会社NITTAN

“電動化に真摯に向き合う決意”

主力製品であるエンジンバルブに限らず、
電動化領域にも果敢に挑戦する姿勢を
こめた社名にした

1-7. 事業領域（主な生産品目）

小型エンジンバルブ事業



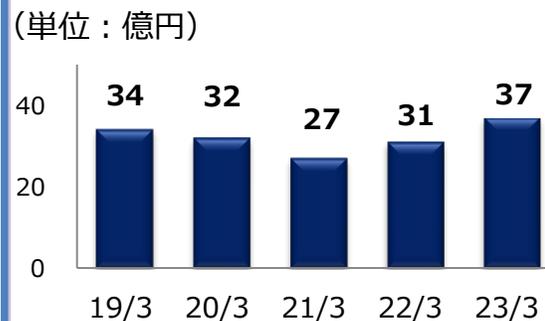
小型エンジンバルブ事業売上高（連結）



船用部品事業



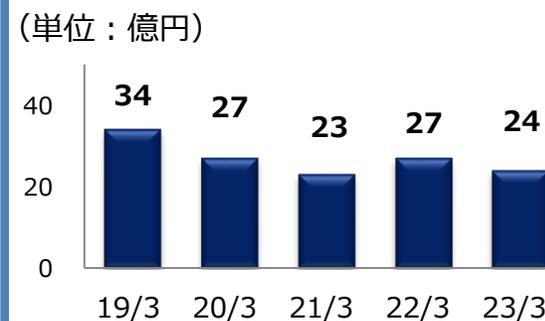
船用部品事業売上高（連結）



歯車事業



歯車事業売上高（連結）



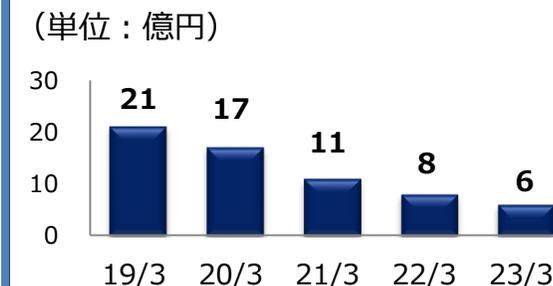
PBW事業

PBW事業売上高（連結）



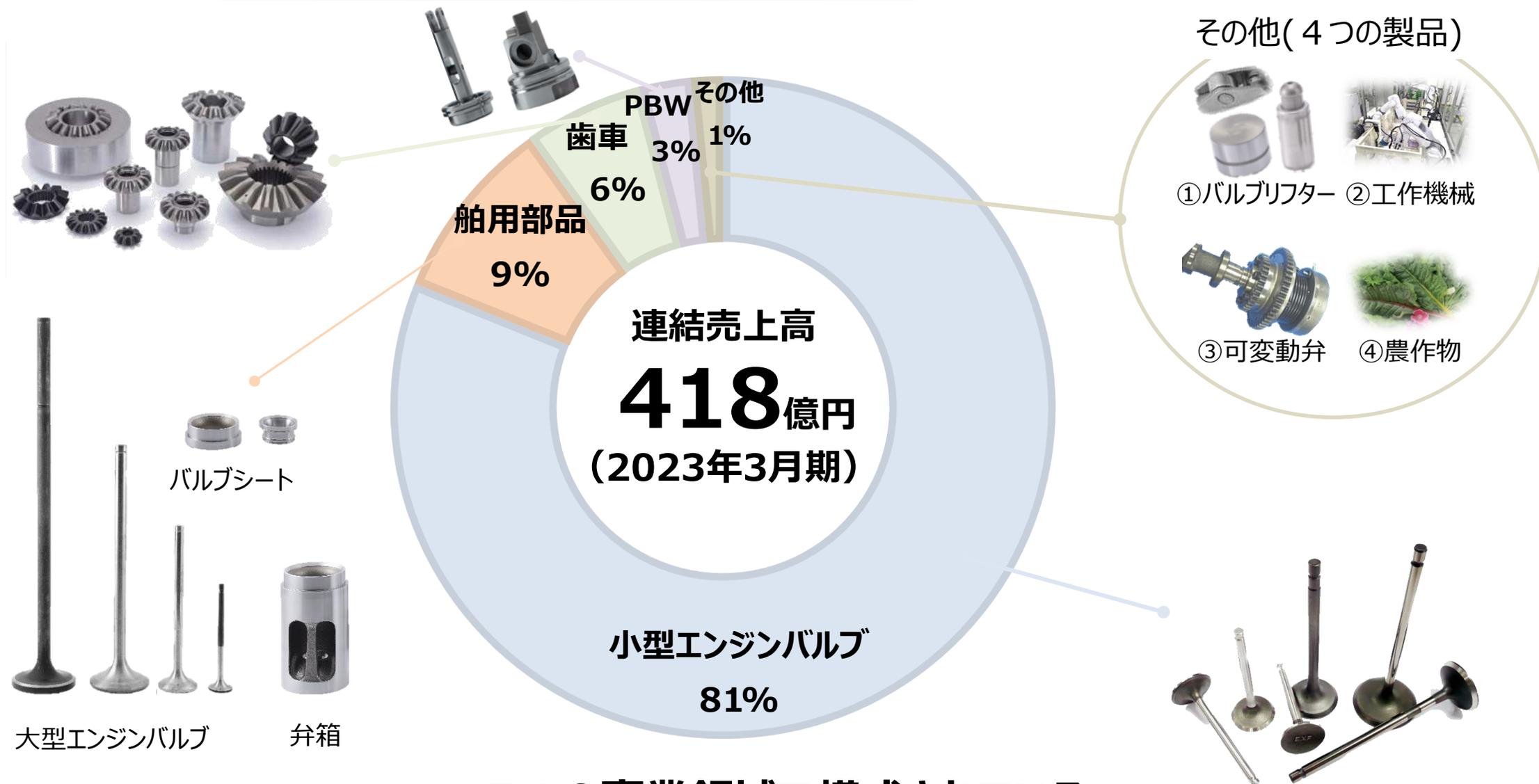
その他事業

その他事業売上高（連結）



■ 5つの事業領域で構成されている

1-8. 連結売上高及び事業領域（セグメント）別比率



■ 5つの事業領域で構成されている

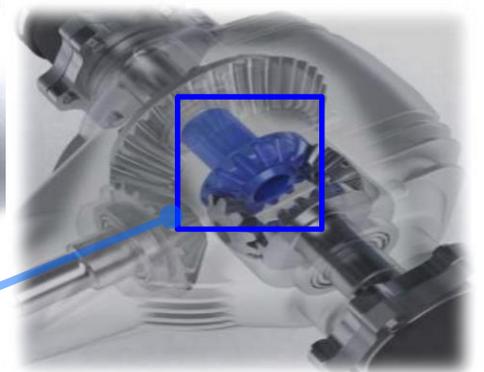
1-9. 当社主要製品の搭載箇所

NITTANの原点であり、
戦略の要！

① エンジンバルブ



- 乗用車
- オートバイ
- バス
- トラック
- レーシングカー
- 船舶
- 発電機
- 農業機械
- 建設機械



エンジンバルブの長寿命化、軽量化を実現

② バルブリフター



- 乗用車

精密鍛造工法により実現した強度と精度

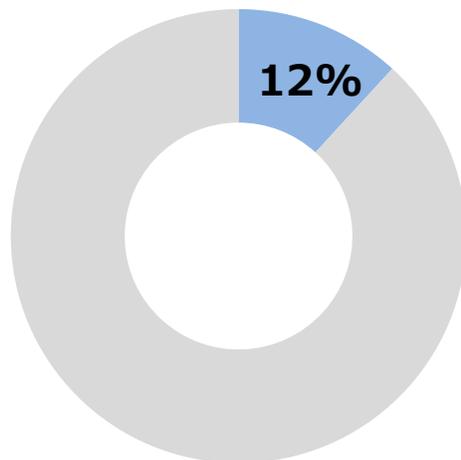
③ 精密鍛造歯車



- 農業機械
- 建設機械
- 乗用車
- トラック

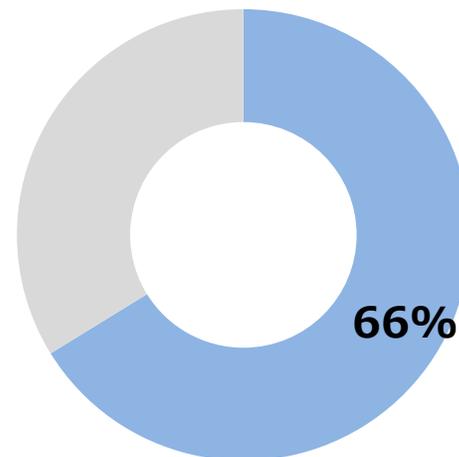
1-10. グローバルシェア ~ (エンジンバルブ当社推定シェア)~

四輪向け



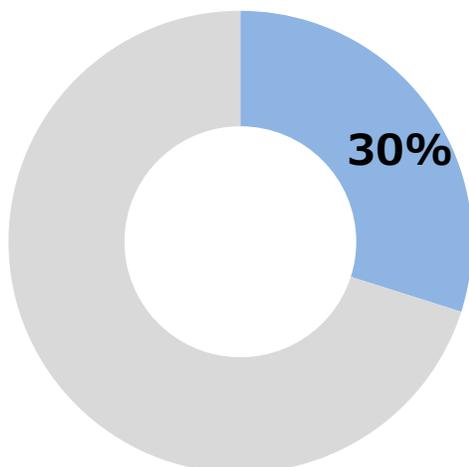
およそ8台に1台

船用中速エンジン向け



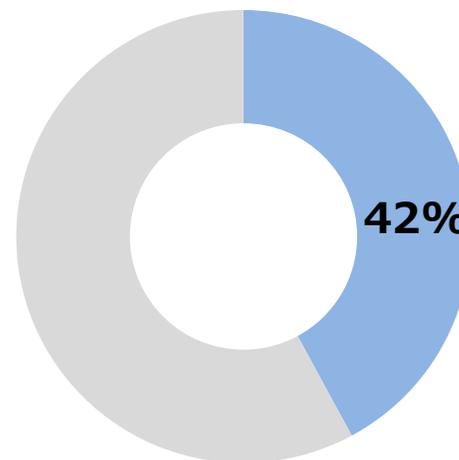
およそ3隻に2隻

二輪向け



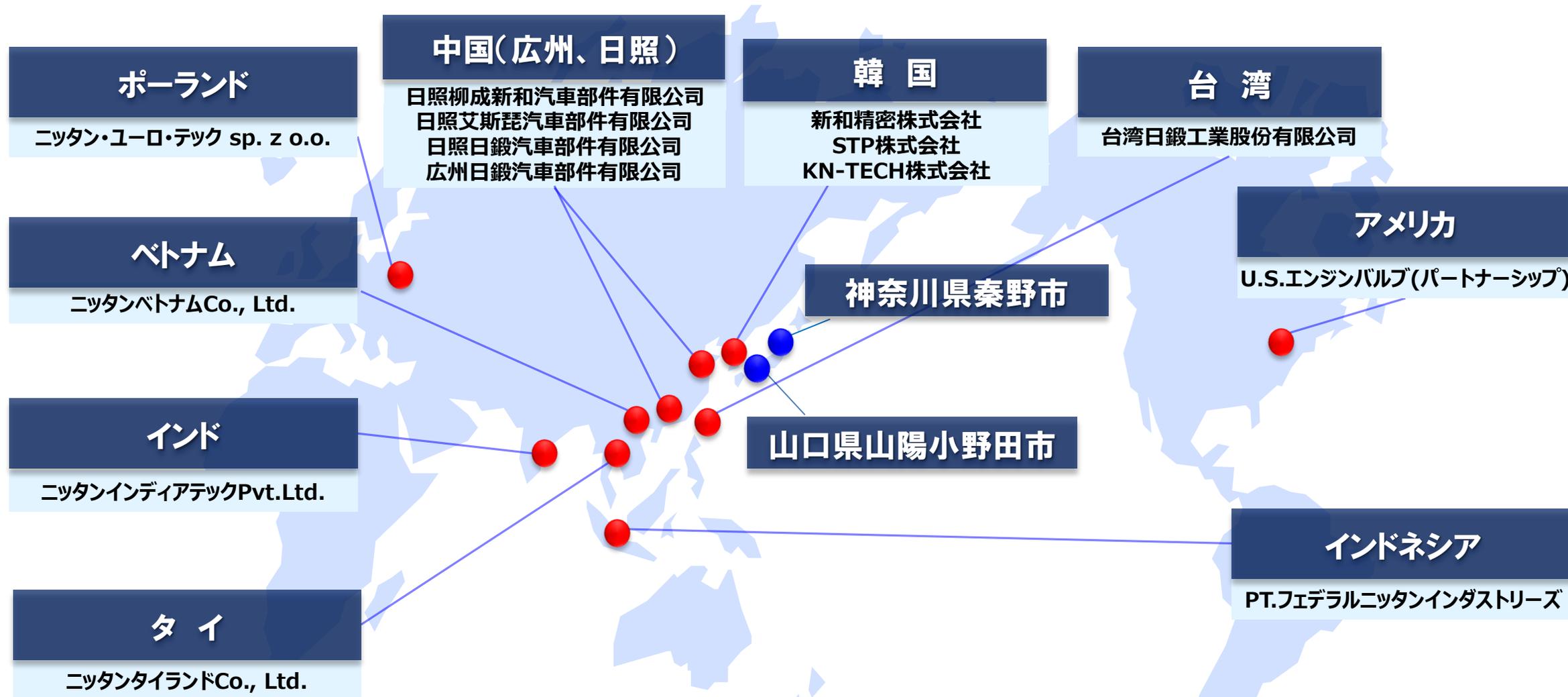
およそ3台に1台

船外機向け



およそ2艇に1艇

1-11. NITTANグループ生産拠点 (●国内, ●海外)



■ 国内2拠点、海外14拠点 (アセアン・アジア : 12、北米・欧州 : 2) を設けている

1-12. NITTANグループ各拠点の生産能力



(1,000pcs/年)

地域	拠点	小型エンジンバルブ	大型エンジンバルブ	バルブリフター	歯車
日本	NITTAN(秦野)	15,600	360	-	5,400
	NITTAN(山陽)	50,160	-	-	-
アジア	広州日鍛	24,000	-	-	-
	日照艾斯琵/日照柳成	-	-	18,000	-
	日照日鍛	12,000	-	-	-
	台湾日鍛	3,600	-	-	-
	KN-TECH	-	72	-	-
	新和精密	-	-	78,000	-
	フェデラルニッタン	33,600	-	-	-
	ニッタンベトナム	9,000	-	-	-
	ニッタンインドシアテック	12,000	-	-	-
	ニッタンタイランド	33,600	-	-	-
欧州	ニッタンユーロテック	10,800	-	-	-
北米	U.S.エンジンバルブ	48,000	-	-	-
合計		252,360	432	96,000	5,400

1-13. 主要お取引先様の紹介



四輪車(エンジンバルブ)

- ▶ 本田技研工業株式会社
- ▶ マツダ株式会社
- ▶ トヨタ自動車株式会社
- ▶ 株式会社SUBARU
- ▶ 日野自動車株式会社
- ▶ スズキ株式会社
- ▶ Powertrain Engineering Sweden
- ▶ Hyundai Motor Company

歯車

- ▶ 株式会社アイシン
- ▶ 日野自動車株式会社
- ▶ 日立建機株式会社
- ▶ 株式会社神崎高級工機製作所

NITTANグループは **総177社** のお客様とお取引しております

二輪車(エンジンバルブ)

- ▶ ヤマハ発動機株式会社
- ▶ 本田技研工業株式会社
- ▶ カワサキモータース株式会社
- ▶ トライアンフ・モーターサイクル

船用部品

- ▶ Wartsila
- ▶ ヤンマーパワーテクノロジー株式会社
- ▶ ダイハツディーゼル株式会社
- ▶ 株式会社IHI原動機

バルブリフター

- ▶ Hyundai Motor Company
- ▶ ヤマハ発動機株式会社
- ▶ マツダ株式会社
- ▶ カワサキモータース株式会社

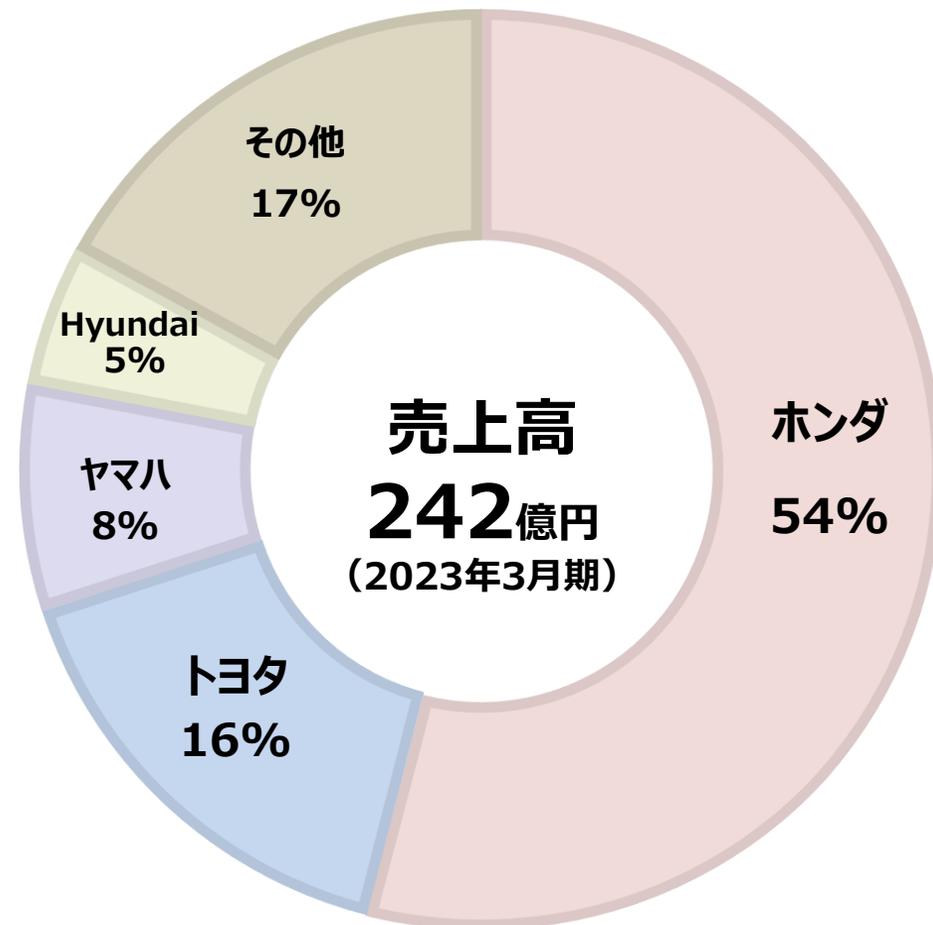
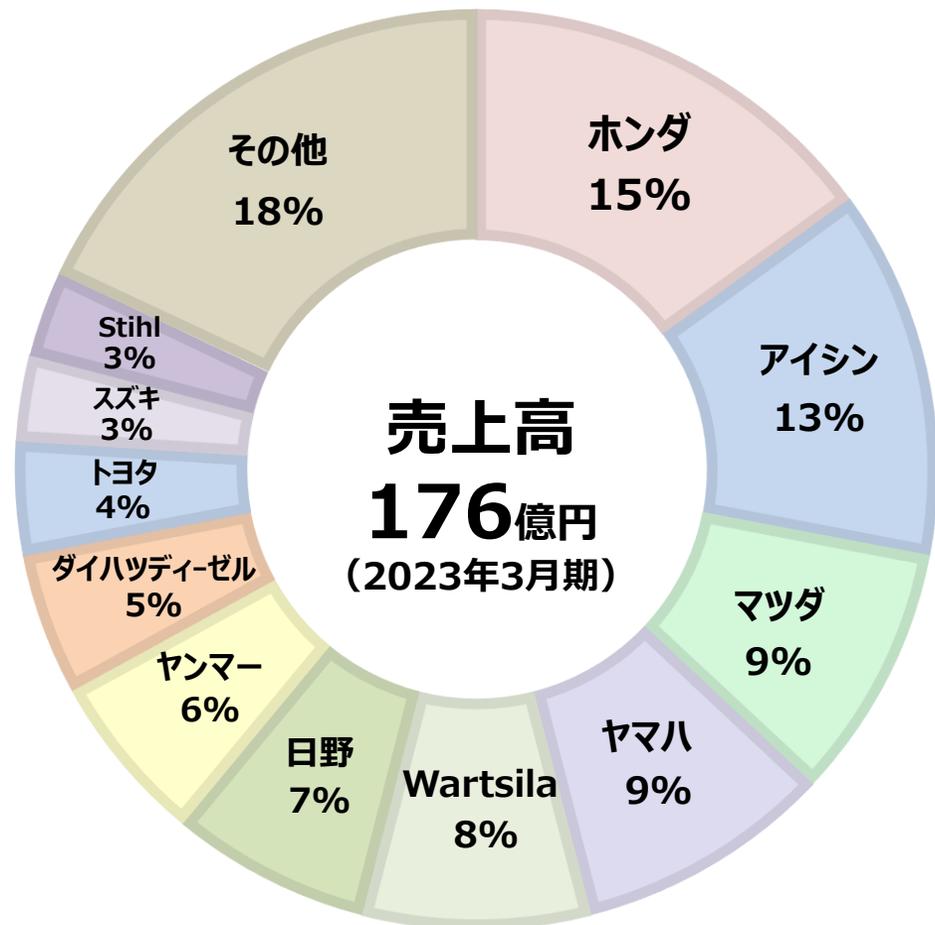
1-14. 国内・海外 主要お取引先様比率 (連結売上高)



【敬称略】

【国内】

【海外】



■ 系列に属さない強み

■ 地産地消のニーズに応えている

数々の成果を生み出してきた究極の“ものづくり”に向けた活動

NPM（Nittan-TPM*）が“カイゼン”の土壌
「弾力ある強い会社」に向けてNPM活動をステップアップ

勝ち続ける
企業を目指す

「ものづくり」と「人づくり」の向上



生産性を阻害する16大ロスの改善
設備に強い人づくり

1997年 TPM優秀賞 2000年 TPM継続賞 2005年 TPM特別賞

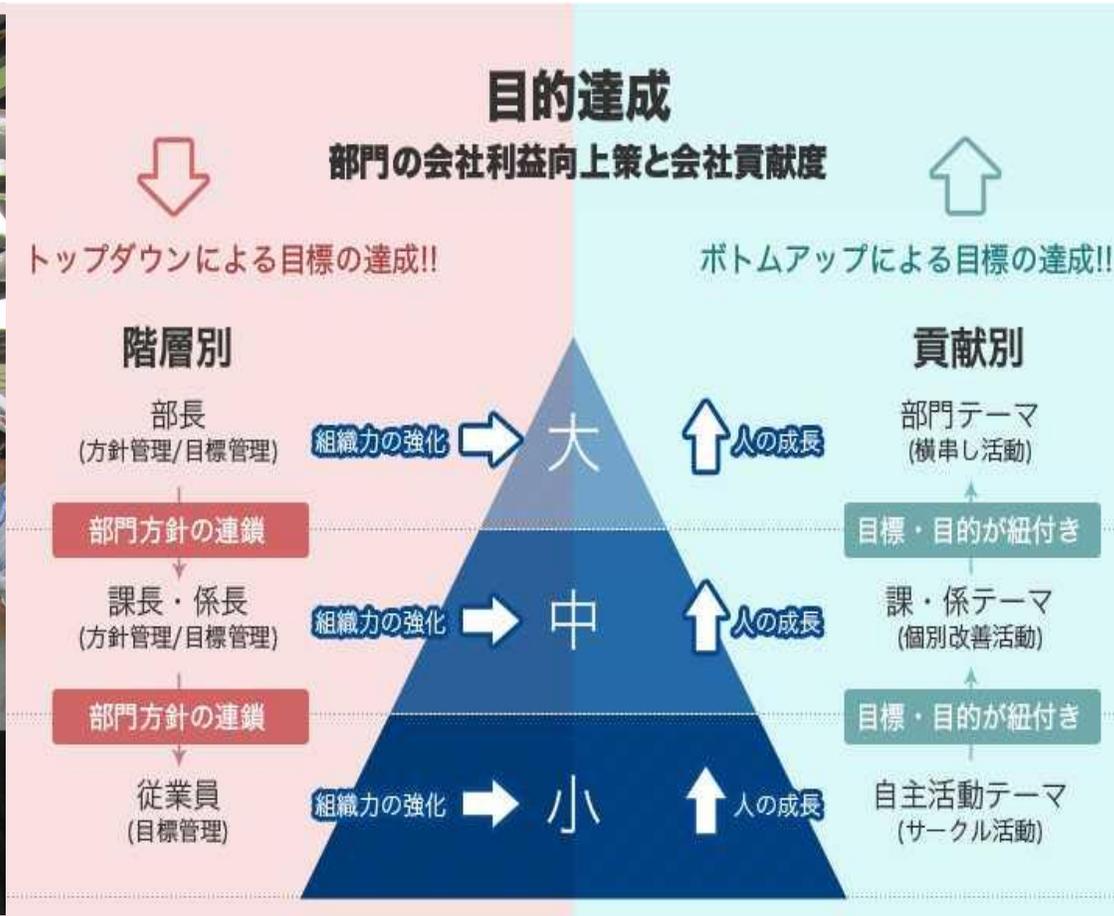
※TPM：「Total Productive Maintenance」の略称
生産システムの効率化を極限まで追求（ロスゼロ）する企業体質づくりを目標とし、生産部門にとどまらない組織のあらゆる部門にわたって展開される全員参加の生産保全活動のこと。

※NPM：「NITTAN Productive Maintenance」の略称

1-16. 生産改善活動（NPM活動）について



改善事例の発表風景



日常管理

チームワークコミュニケーション



NPM道場での技術指導風景

1-17. 各種受賞実績

各種受賞実績

1999	Volvo Cars Award of Excellence 1999	Volvo殿
2002	Ford "Gold" World Excellence Award	Ford殿
2003	Volvo Cars Award of Excellence 2003	Volvo殿
	Ford "Silver" World Excellence Award	Ford殿
2007	Best Supplier Award	Wartsila殿
	技術開発賞・品質管理優秀賞受賞	トヨタ自動車殿
2009	搬入品質感謝賞受賞	本田技研工業殿
2011	品質管理賞（金賞）受賞	日野自動車殿
2012	VA優良賞受賞	トヨタ自動車殿
2014	グローバル原価革新賞受賞	ヤマハ発動機殿
	品質優良賞受賞	ダイハツディーゼル殿
2016	優良感謝賞（開発賞）受賞	本田技研工業殿
	優秀協力賞	現代自動車殿
2017	社長賞受賞	新潟原動機殿
	Project貢献賞受賞	アイシンAW殿
2018	品質管理賞優良賞	日野自動車殿
2019	グローバル品質優秀賞	ヤマハ発動機殿
	優秀サプライヤー賞	STIHL殿
2021	グローバル品質優秀賞	ヤマハ発動機殿
2022	品質優秀賞	SUBARU殿
	グローバル品質優秀賞	ヤマハ発動機殿



1-18. カーボンニュートラルへの取り組み

■ 会社方針：NITTANカーボンニュートラル（NCN）は、世界基準と推進に協調し、NC10と共に実現する
（日本政府の目標に準じ、CO₂排出量を2013年比で2030年までに46%削減を目標とする）

■ 数値目標：2013年度 B/M：CO₂排出量 38,839 t-CO₂（スコープ1+2）
2030年度 目標：CO₂排出量 20,973 t-CO₂（スコープ1+2）△46%:17,866t-CO₂

アクションプラン

①

再エネ活用

太陽光発電設備の設置
('30年までの目標：
'22年目標設定比約5%削減)

カーボンフリー電力の導入
('30年までの目標：
'22年目標設定比約20%削減)

②

省エネ対策

('22年目標比で1%以上/年)

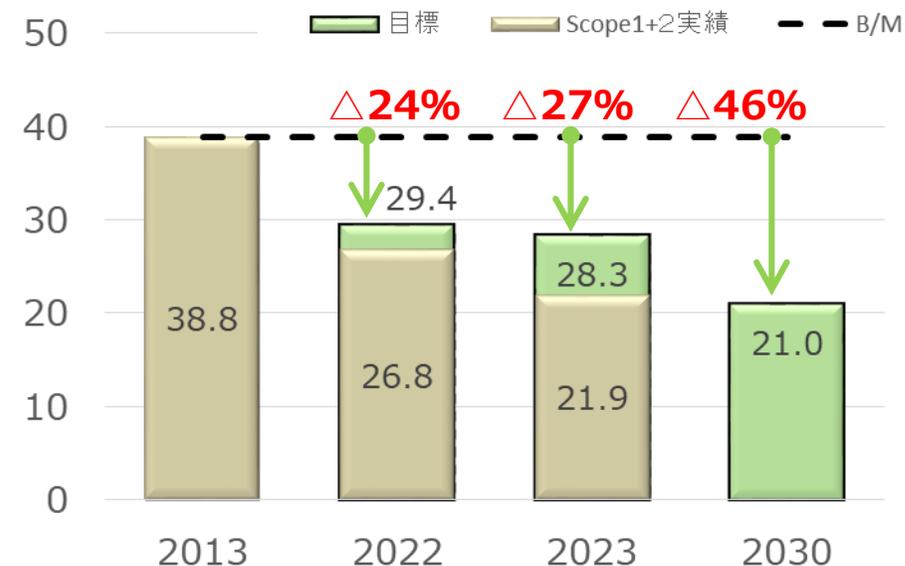
コンプレッサー

空調設備

照明機器

その他、生産設備

千t-CO₂ スコープ1、スコープ2 CO₂ 排出量



※2023年は、12月末実績です

1部： NITTAN ってどんな会社？

2部： 中長期経営ビジョン

3部： 業績動向

4部： 株主還元

当社が保有するあらゆる技術を駆使し、モビリティ業界のカーボンニュートラル実現に貢献していく

パーパス設定の理由

- カーボンニュートラル実現のためには、電動化(BEV)だけではなく、内燃機関を活用するアプローチが有効的と言える
- 全方位的アプローチ(HEV/PHEV/e-Fuel/H₂/NH₃/BEV/FCEV)に、既存技術力と新商品開発力で、市場のニーズに応じて行く

カーボンニュートラル ≡ (既存ビジネス + 新規ビジネス + NCN)

新しい「NITTAN」の中・長期経営VISION

売上高
1,000億円以上

営業利益額
100億円以上

ROS
10%以上

NITTAN Challenge10



2-3. 主要自動車市場の規制動向

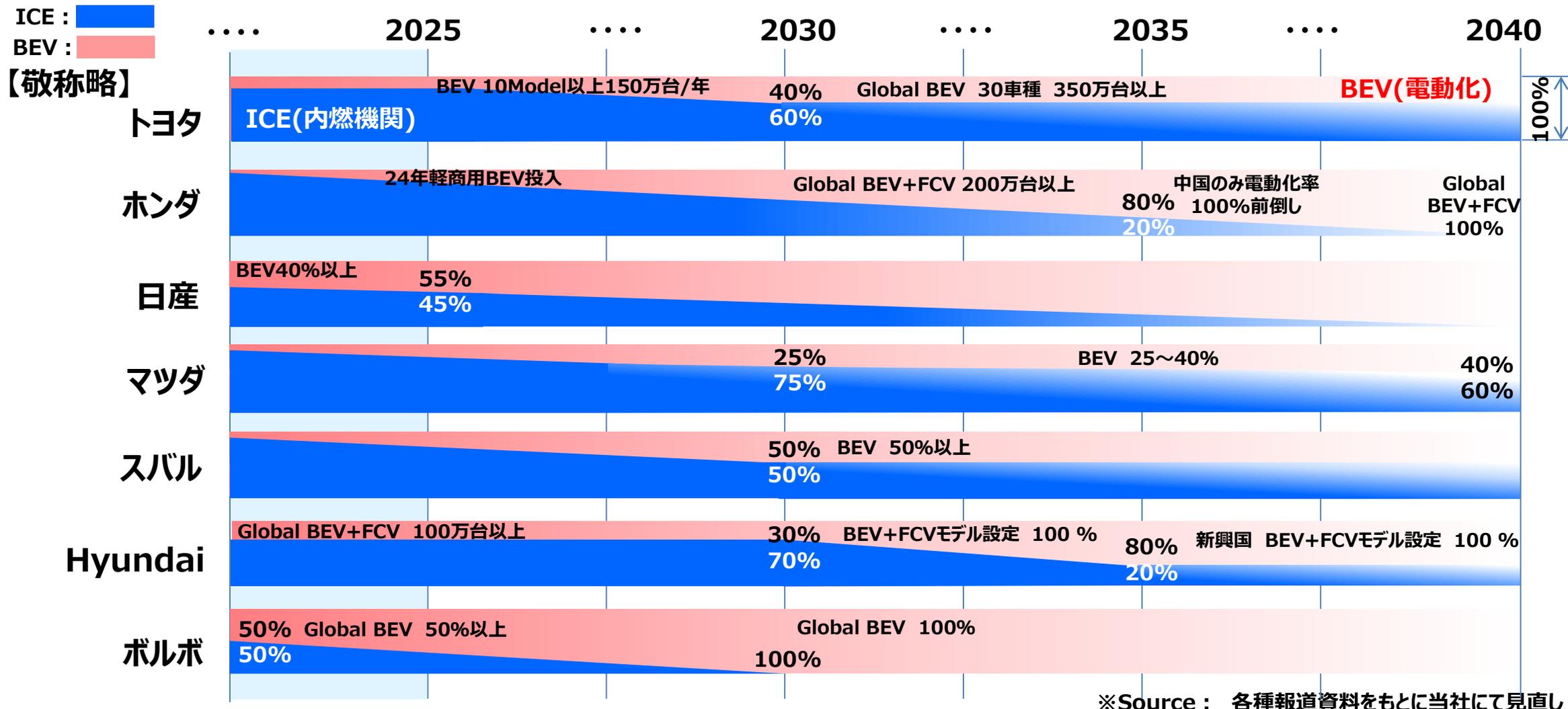
排ガス・燃費規制 → 販売規制 → 規制案、目標



※Source : AM_Word、JAE自動車技術他、報道資料をもとに当社にて見直し

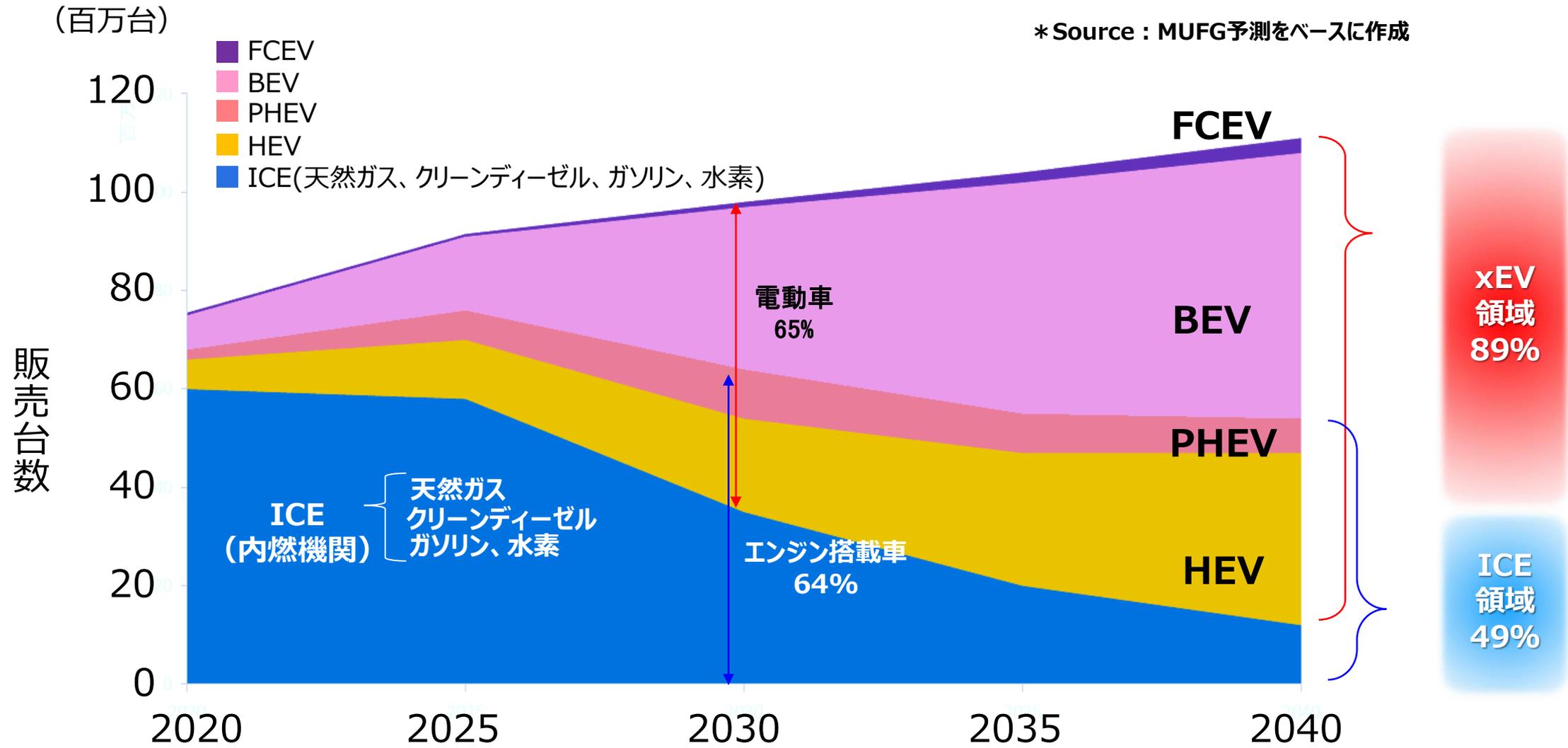
- 米国では新たにTier4排ガス規制を検討中であり、各自動車メーカーへの影響が懸念される
- 英国もガソリン車販売禁止を2035年に延期し、欧州の足並みは揃いつつある

2-4. 自動車メーカー 電動化の動向



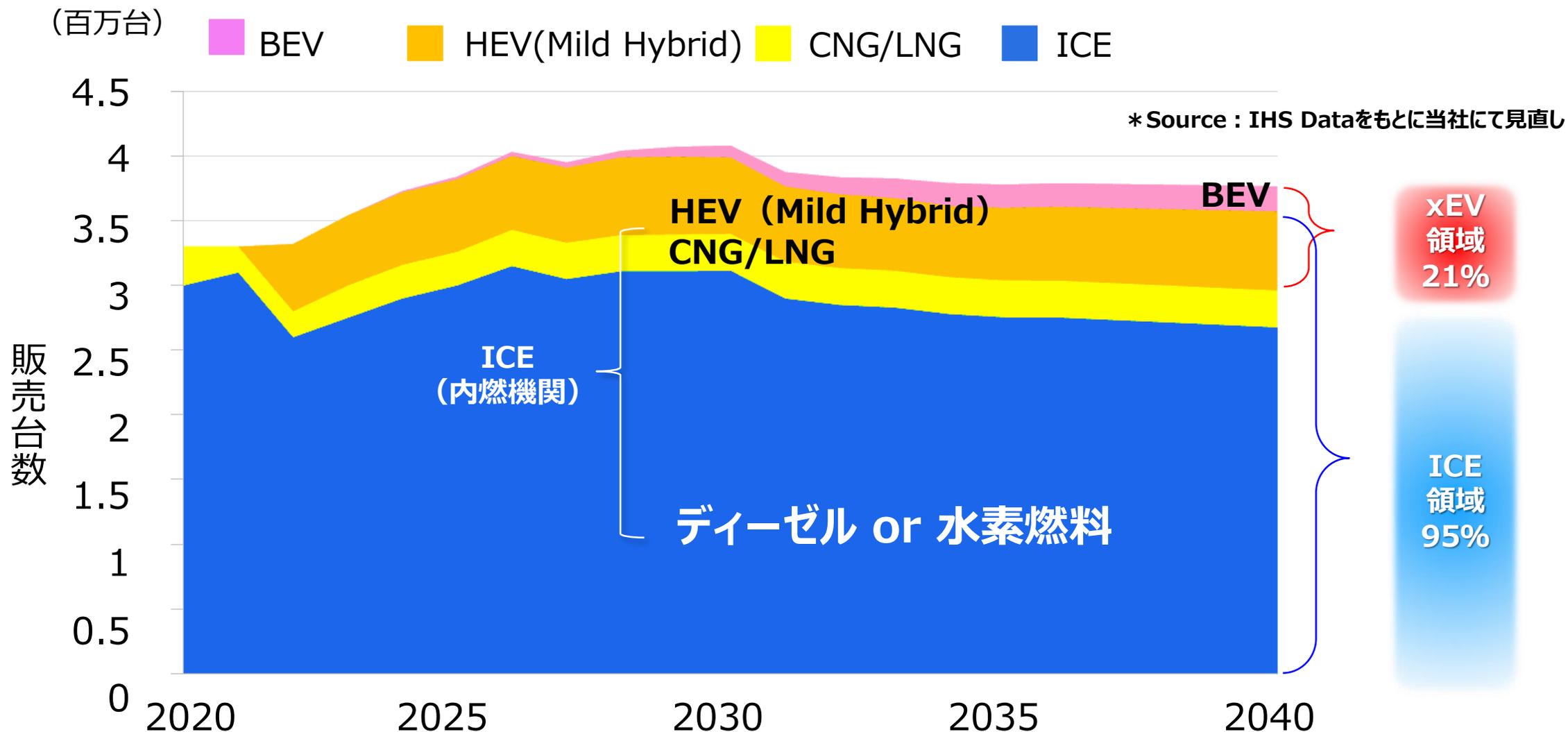
■ 各社まちまちの戦略、NC10開発をもって、自動車業界のカーボンニュートラル実現に貢献する

2-5. 乗用車 パワートレイン予測 -2020~2040-



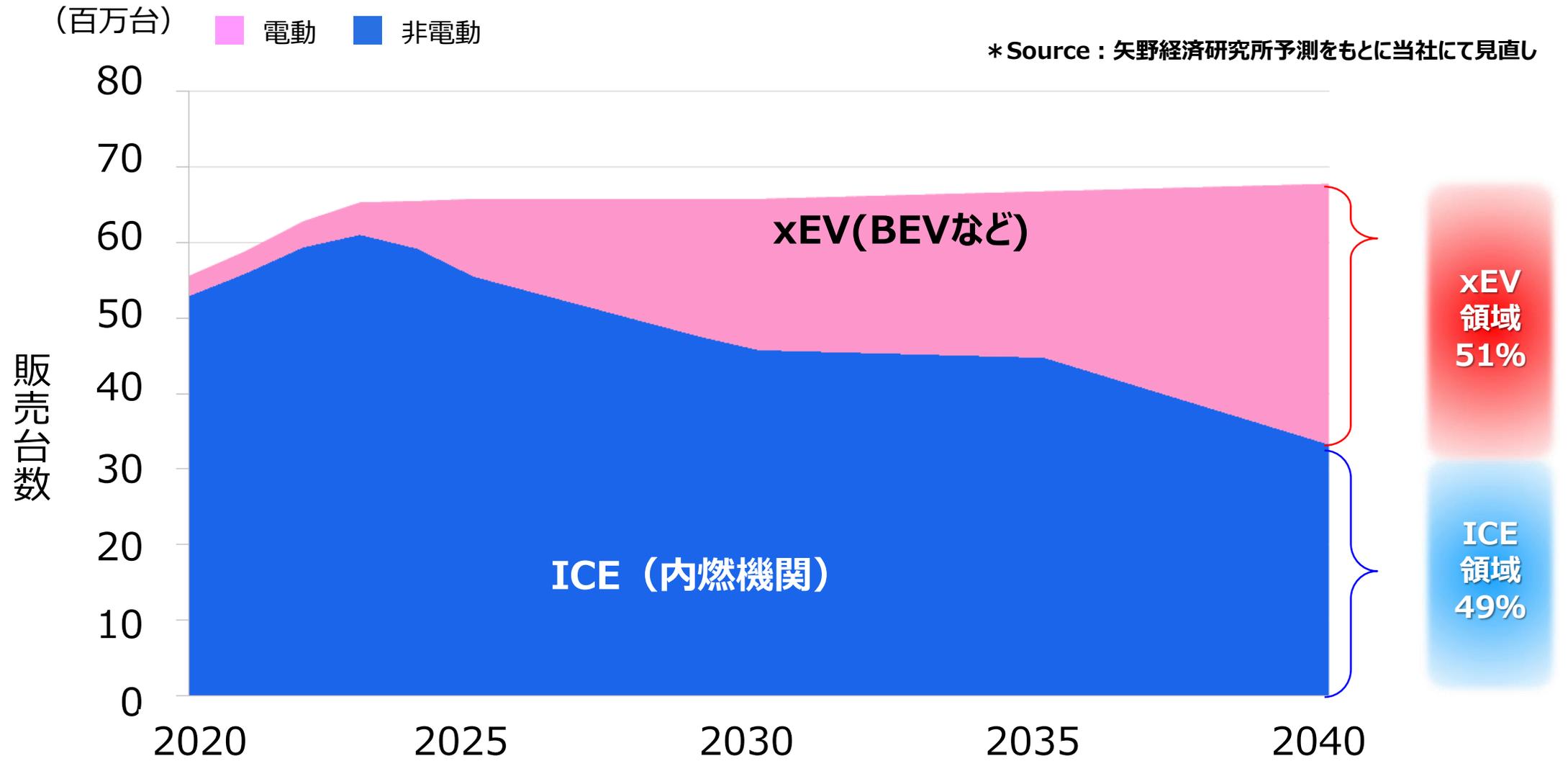
■ 早ければ2030年にも電動車が主流となっていくが、ICE(内燃機関)も一定数残ると予想される

2-6. 商用車 パワートレイン別販売予測 2020~2040



■ 当面はICE(内燃機関)が主流であり、電動化への切替わりについては、時間がかかる見込み

2-7. 自動2輪 パワートレイン予測 -2020~2040-



■スクーター系はEV移行が加速すると考えられるが、スポーツ系などでICEも一定数残ると予想される

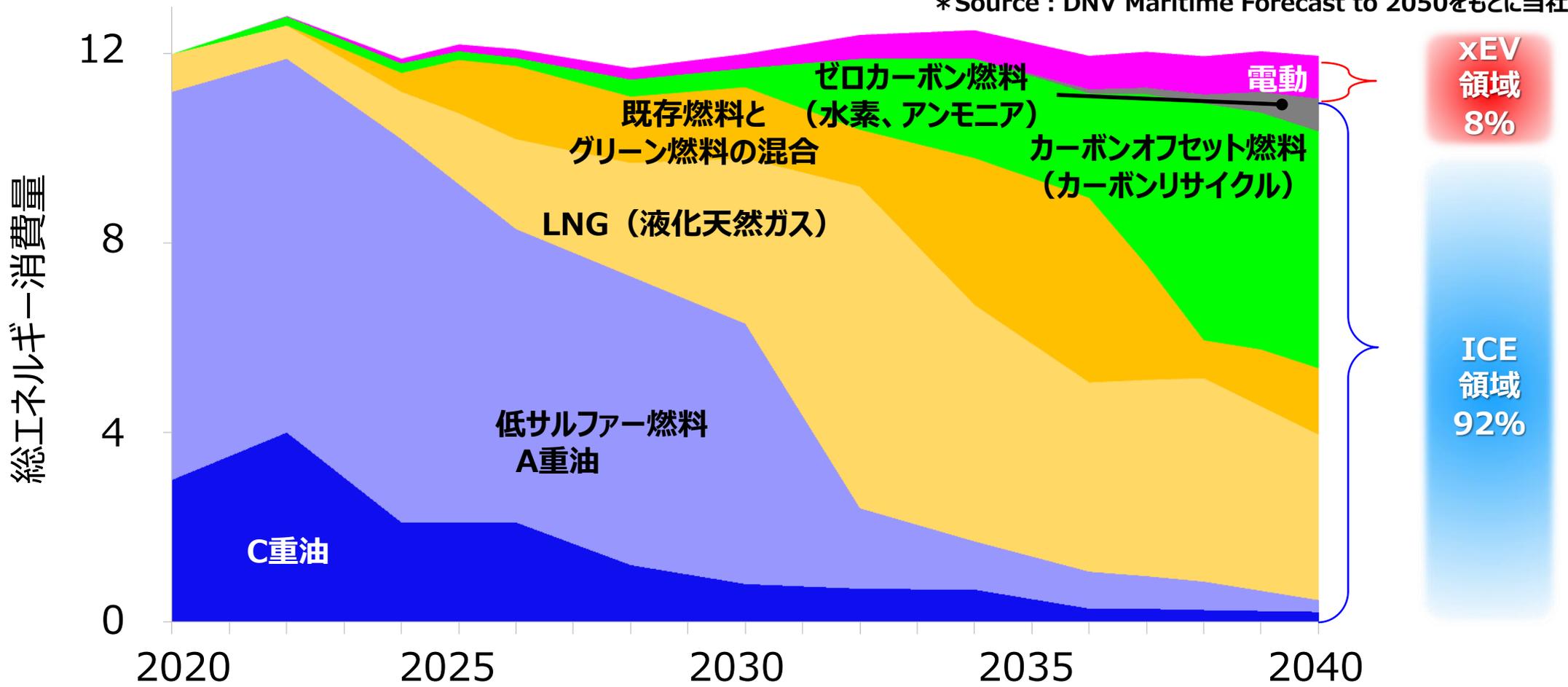
2-8. 船舶 パワートレイン燃料予測 2020~2040



※EJ(エクサジュール) = 10¹⁸J

(EJ/年) ■ C重油 ■ A重油 ■ LNG ■ 混合燃料 ■ CO燃料 ■ ゼロカーボン燃料 ■ 電動

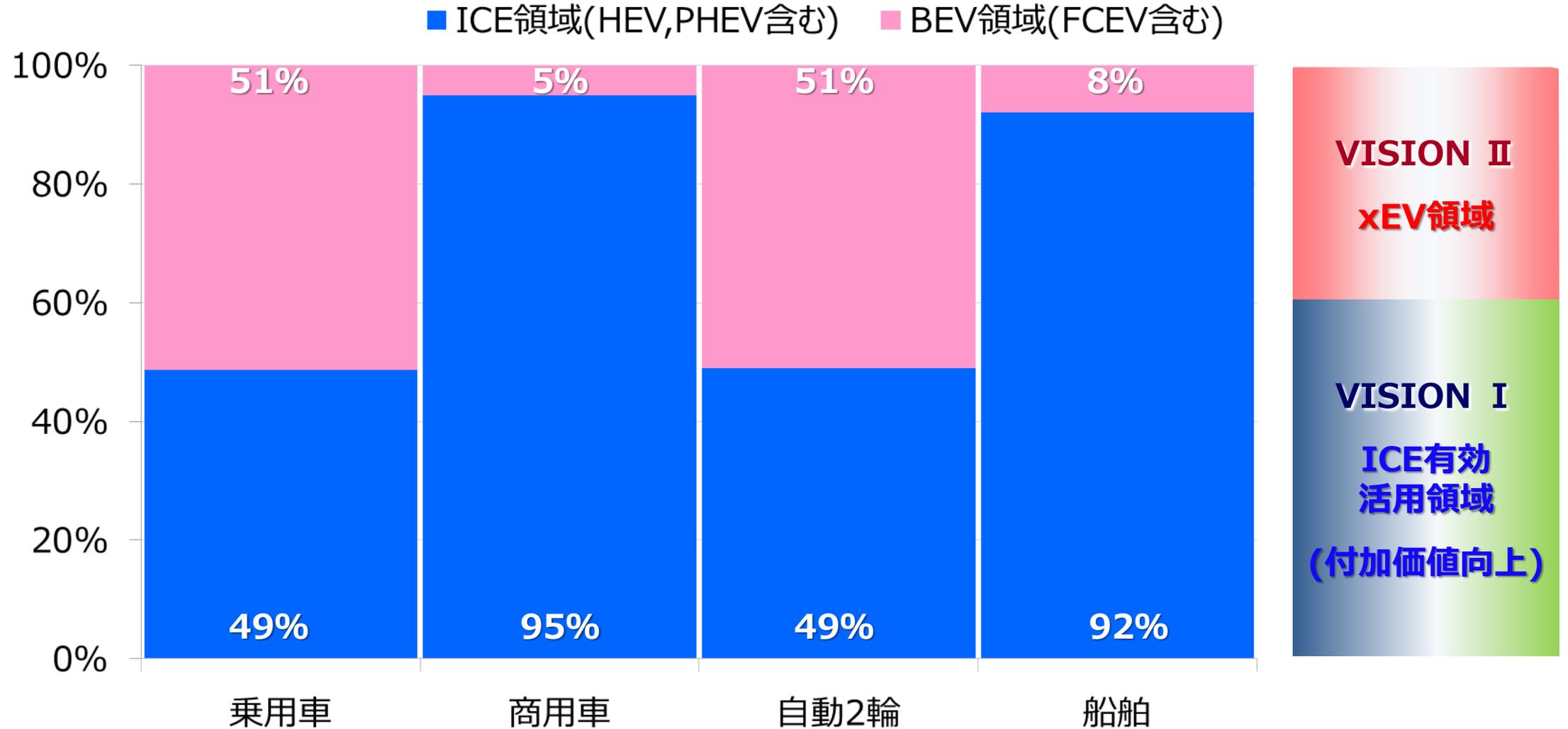
* Source : DNV Maritime Forecast to 2050をもとに当社にて見直し



■ 船用業界は電動化の動きよりは、GHG(温室効果ガス)フリー対応技術がメインになる見込み

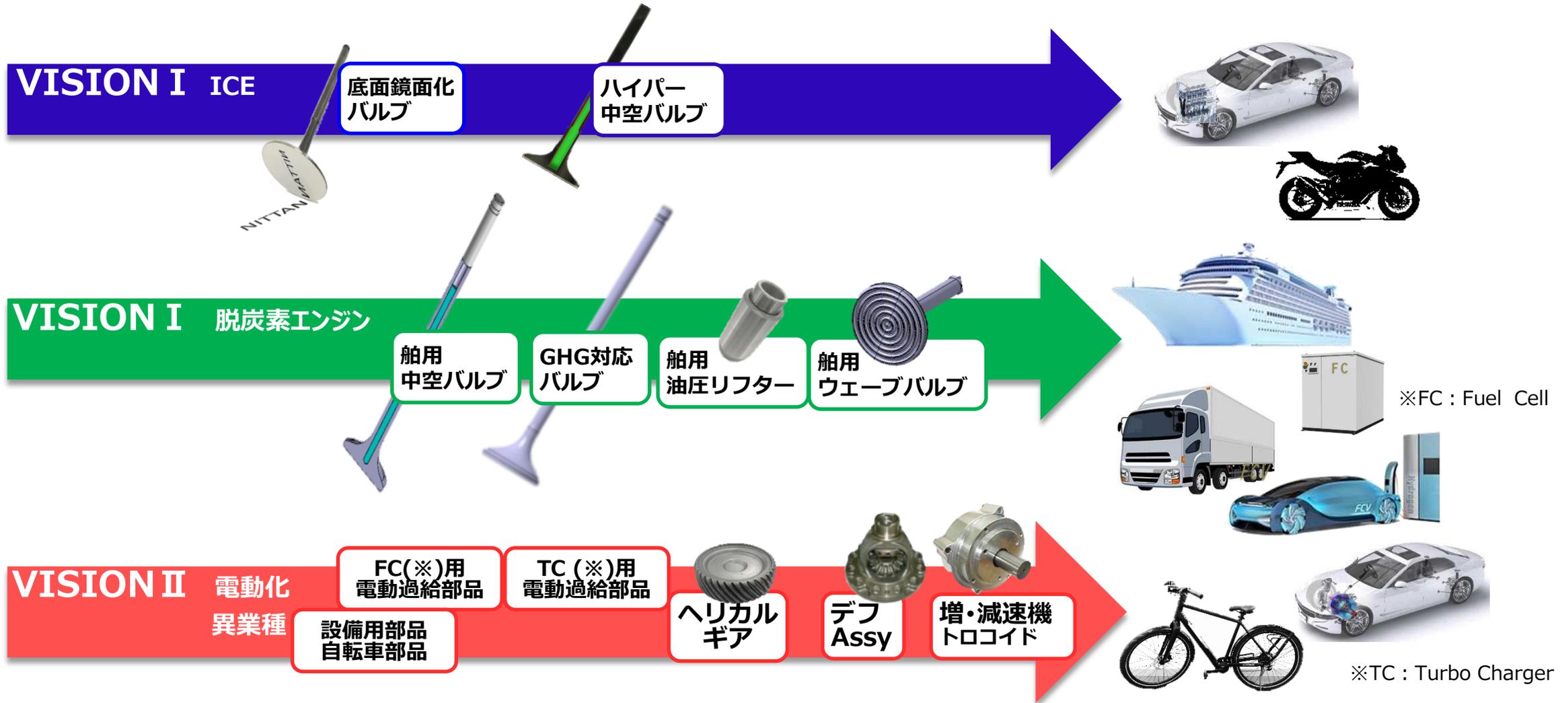
2-9. パワートレイン動向予測 まとめ

2040年予測



■ 乗用車、自動2輪車で電動化が進むが、業界によってはICE領域も依然として多く残る予測

2-10. NC10開発のターゲットアイテム



■ 各国規制や各業界の市場動向の変化に適応したターゲットアイテムの開発を推進している

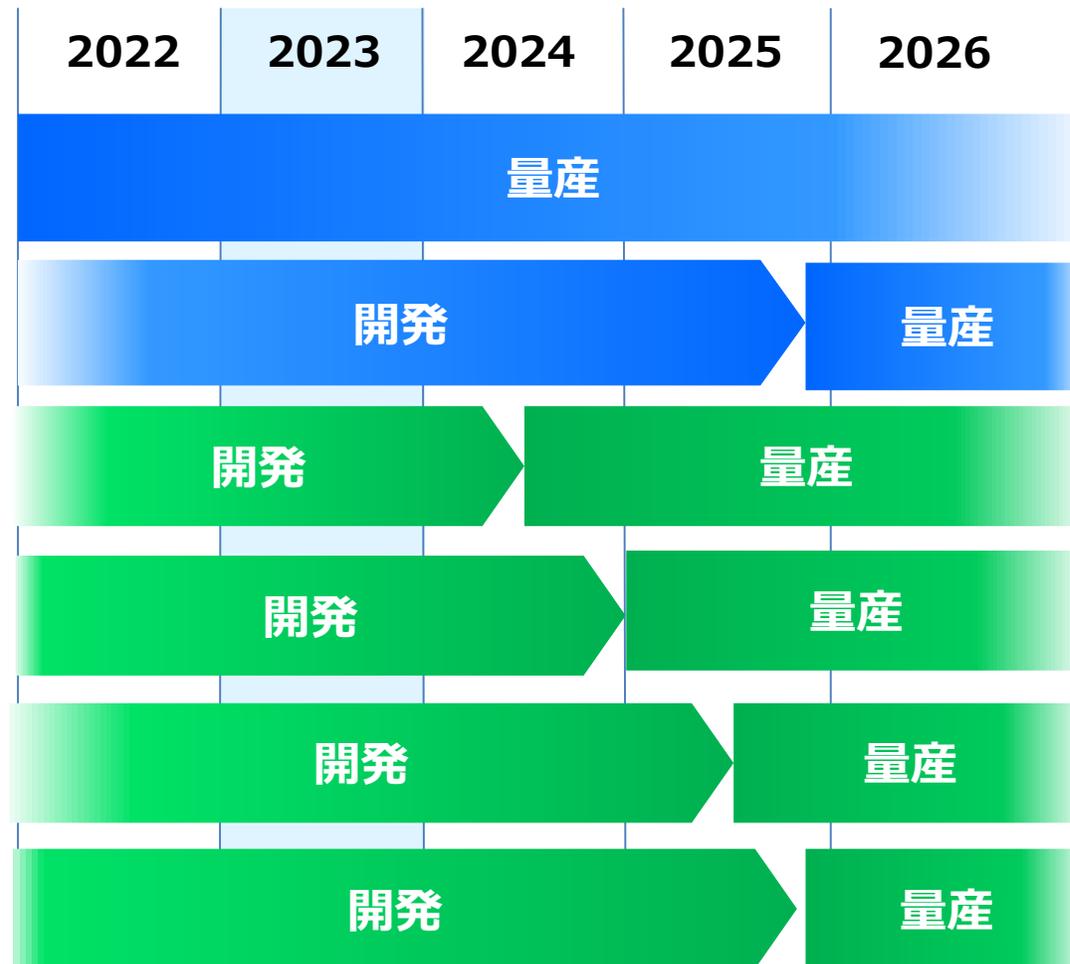
2-11. VISION I (ICE領域)の開発状況

NC10開発アイテム



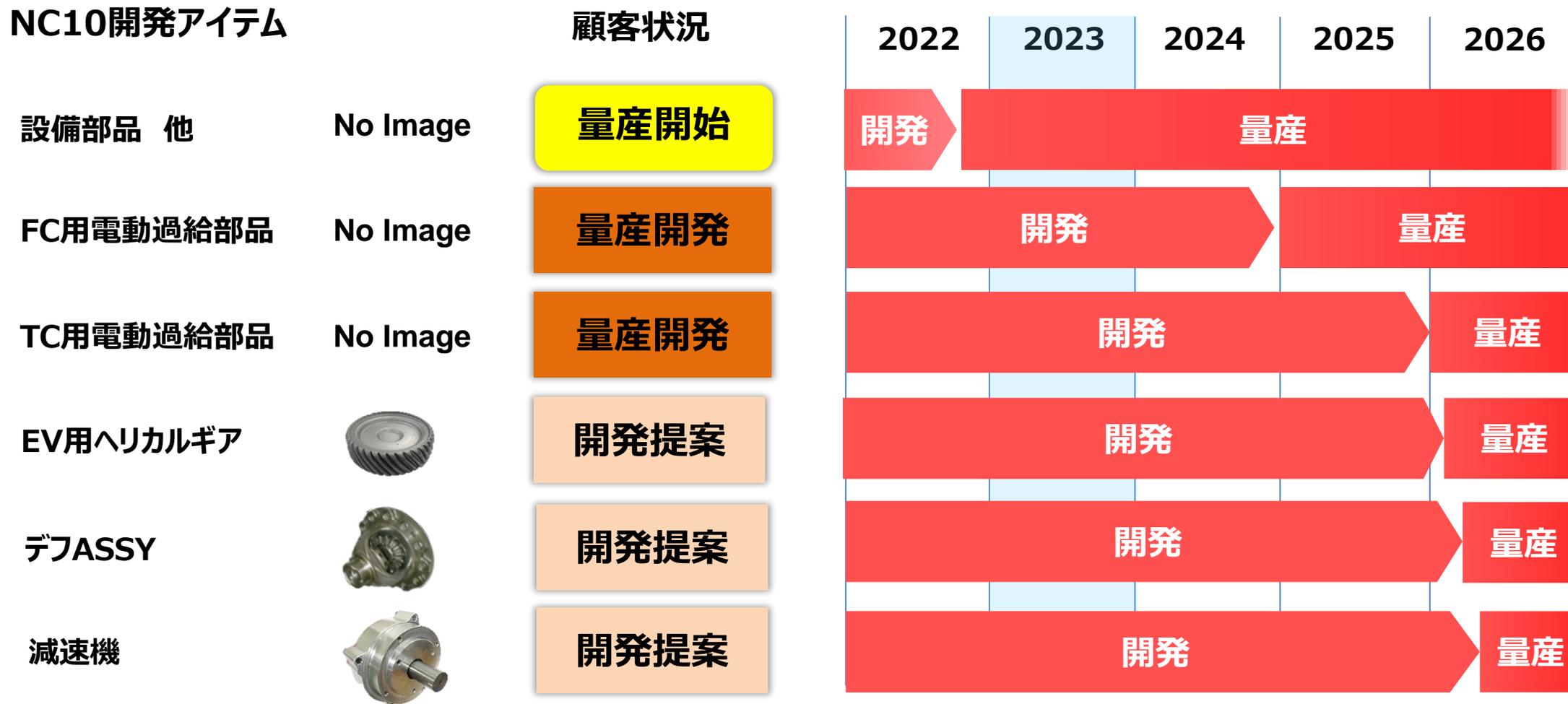
顧客状況

底面鏡面化バルブ	量産開始
ハイパー中空バルブ	先行開発
船用中空バルブ	量産開発
GHG対応バルブ	量産開発
船用油圧リフター	量産開発
船用ウェーブバルブ	開発提案



- ハイパー中空バルブはTier4対応での引き合いあり
- 船用中空バルブ、GHG対応バルブも2024年以降の量産化を目指す

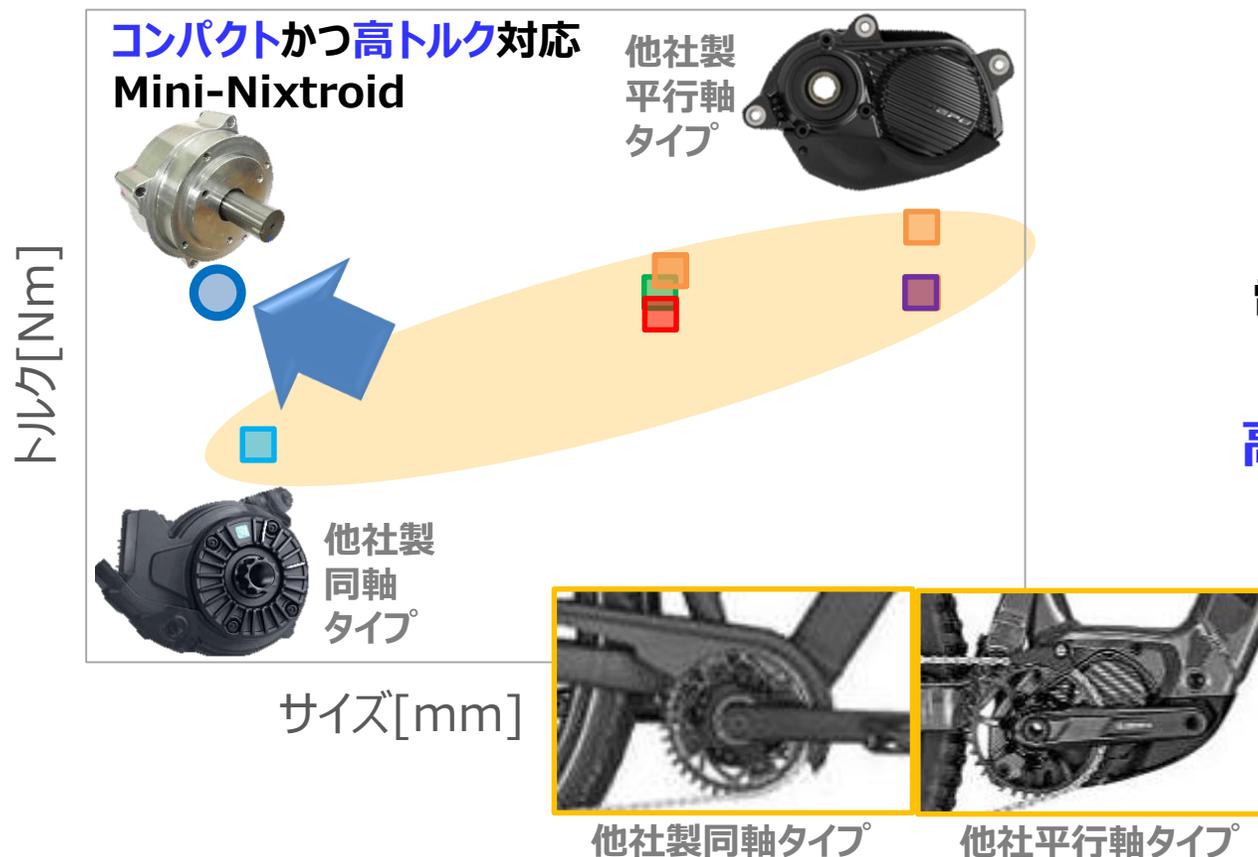
2-12. VISION II (EV領域)の開発状況



- 設備部品等は既に量産を開始しており、更なる受注が決定、増産傾向にある
- FC用電動過給部品は量産延期、一方でTC用電動過給部品の新たな引き合いあり

2-13. 減速機(Nixtroid) について

電動アシスト自転車向け 電動ユニットサイズ比較



高効率タイプ減速機ニーズが高い



電動アシスト自転車



電動自動2輪



小型モビリティ

高精度タイプ減速機ニーズが高い



AGV



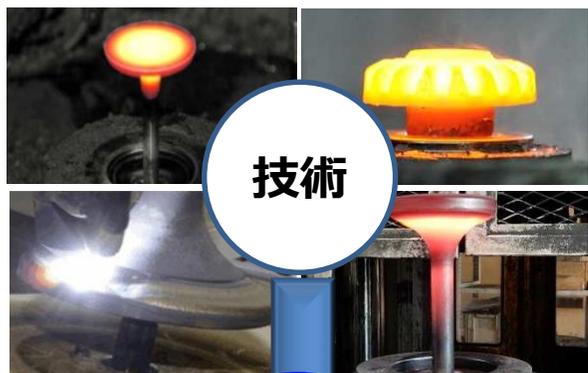
ロボット



機電一体ユニット

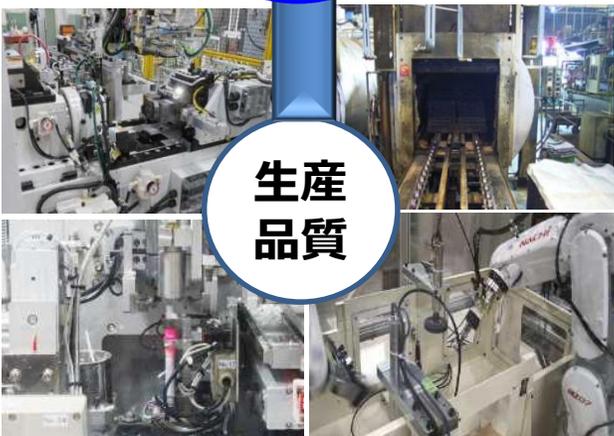
■ 小型減速機はコンパクトかつ高トルク対応で他社と差別化し、ニーズに合わせた開発を推進していく

2-14. 電動過給部品について



技術

コア技術

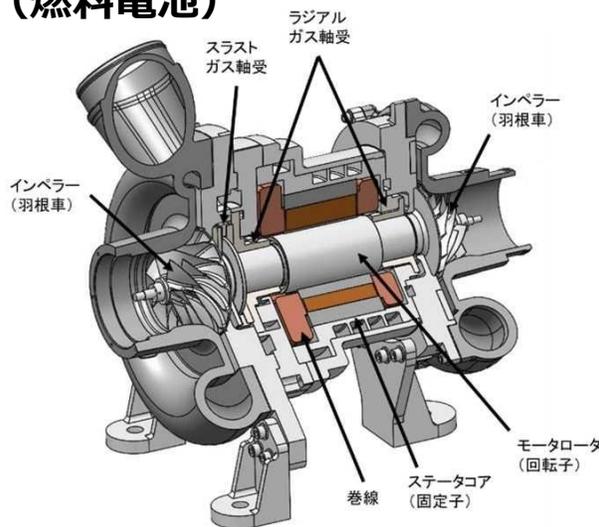


生産
品質

TC (ターボチャージャー)



FC (燃料電池)



引用: デイリーEVヘッドライン [2023.06.28] (ev-times.com)

既存領域



乗用車(ICE)



船舶



商用車



発電機

新規領域



FCV



航空機

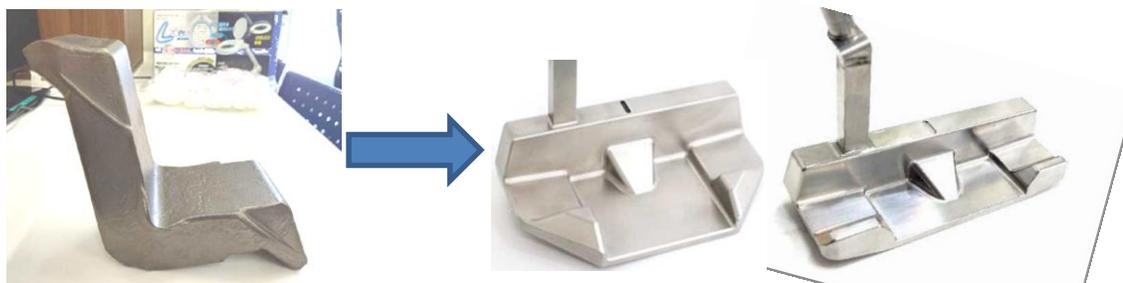
■ NITTANのコア技術をFC用・TC用電動過給部品に活かし、お客様のニーズに貢献していく

■ NITTAN ゴルフパター プロジェクト

パター加工設備（複合加工機）



鍛造素材を使い複合加工機とマシニングで加工実施



■ 高精度鍛造及び加工技術を駆使し、
打音に拘った2種類のパターモデル完成
パター名：奏（KANADE）

■ NITTAN スマートアグリ プロジェクト

社内製栽培キット製作（試作モデル）

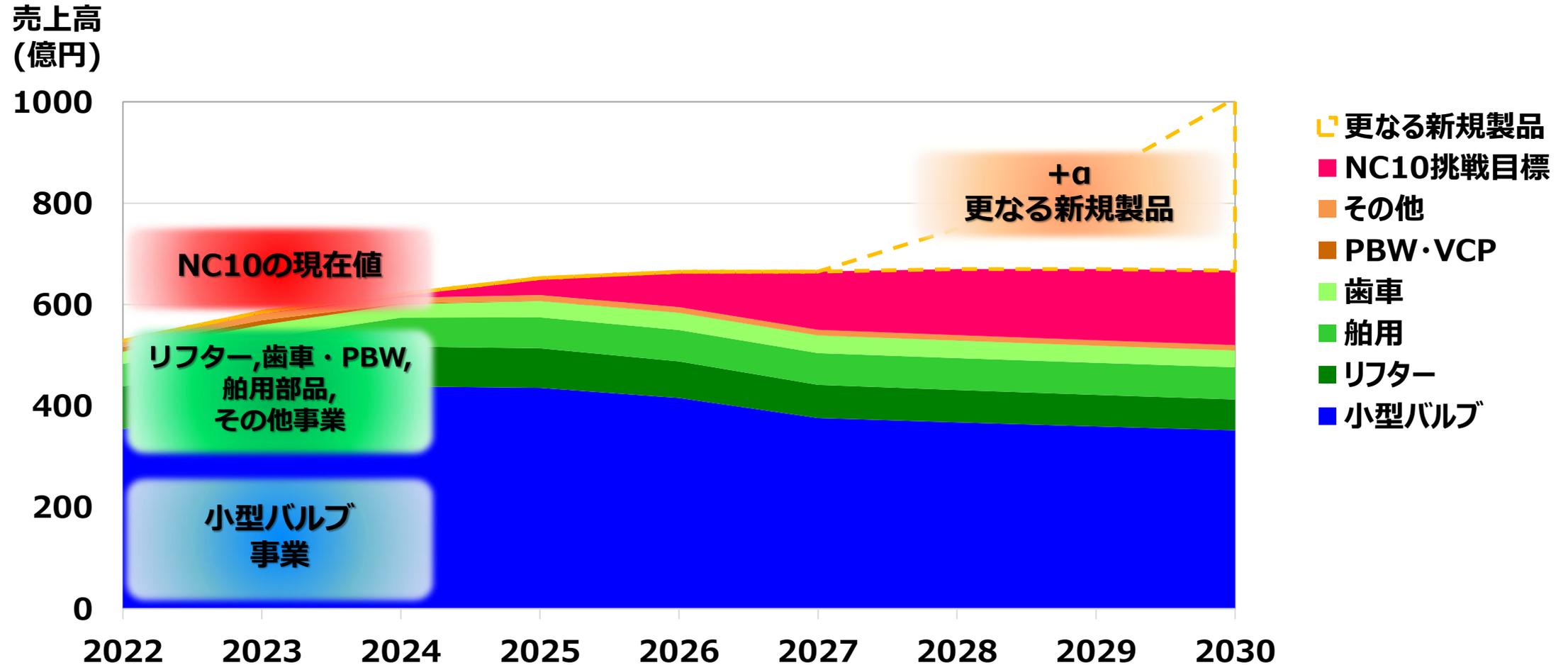


種まきから収穫までをプロジェクトメンバーで実施



■ 目で楽しんで、食して満足できるリーズナブルな
水耕栽培キットの開発を目指して試作中

2-16. NC10目標の現在値 (23年9月基準)



- 開発アイテム以外にも、目標達成に向けた新商品アイデア創出活動を進めている
- M&Aによる事業拡大など、NC10目標達成のための企業戦略も視野に入れていく

1部： NITTAN ってどんな会社？

2部： 中長期経営ビジョン

3部： **業績動向**

4部： 株主還元

3-1. 2024年3月期通期業績見通し総括



(単位：百万円)

	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想(10月31日発表)	増減額 (前期比)	
売上高	38,669	41,876	48,100	6,224	+15%
営業利益	1,963	1,440	2,500	1,060	+74%
営業利益率	5.1%	3.4%	5.2%		
経常利益	2,106	1,759	2,750	991	+56%
当期純利益 (*1)	644	391	1,250	859	+219%
業績見通し適用レート	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想		
(参考) USドル 円/USD	115.02	132.70	132.70		
人民元 円/RMB	18.07	19.02	19.02		

(*) 「当期純利益」は、「親会社に帰属する当期純利益」を指す

- 世界自動車生産は回復傾向にあり、インフレ分の販売価格反映により、増収増益の見通し
(営業利益・経常利益・純利益を上方修正)
- 想定為替レートは、期首計画レートを据え置きとしており、円安が続けば業績にはプラス影響が見込まれる
(147.09円/USD(23年11月末レート)の場合、売上高+3,100百万円、営業利益+200百万円の影響と試算)

3-2. 中期経営計画

(単位：百万円)

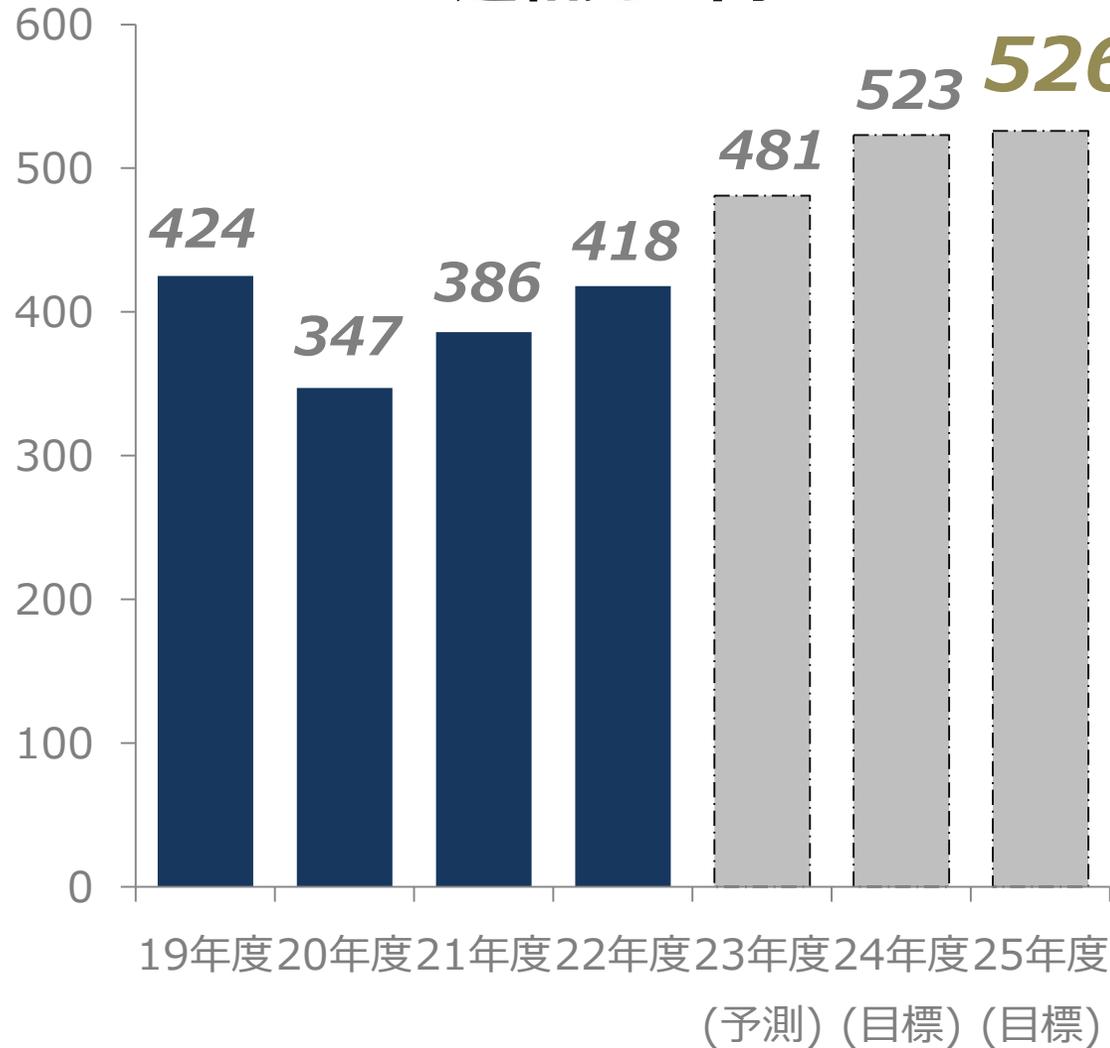
	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度 (予測)	'23年度 (目標)	'24年度 (目標)	'25年度 (目標)
売上高	34,705	38,669	41,876	48,100	48,100	52,300	52,600
営業利益	18	1,963	1,440	2,500	2,200	4,500	4,500
ROS	0.1%	5.1%	3.4%	5.2%	4.6%	8.6%	8.6%
当期純利益	670	644	391	1,250	1,080	2,420	2,580
ROE	3.0%	2.8%	1.6%	3.8%	3.3%	7.3%	7.8%

- 全事業の黒字化でROE 8%以上を目指す
- 既存事業の安定的なキャッシュをNC10へ投資する
- 収益性の向上、投資効率を高めPBRの改善を目指す

3-3. 連結売上高および連結営業利益の推移

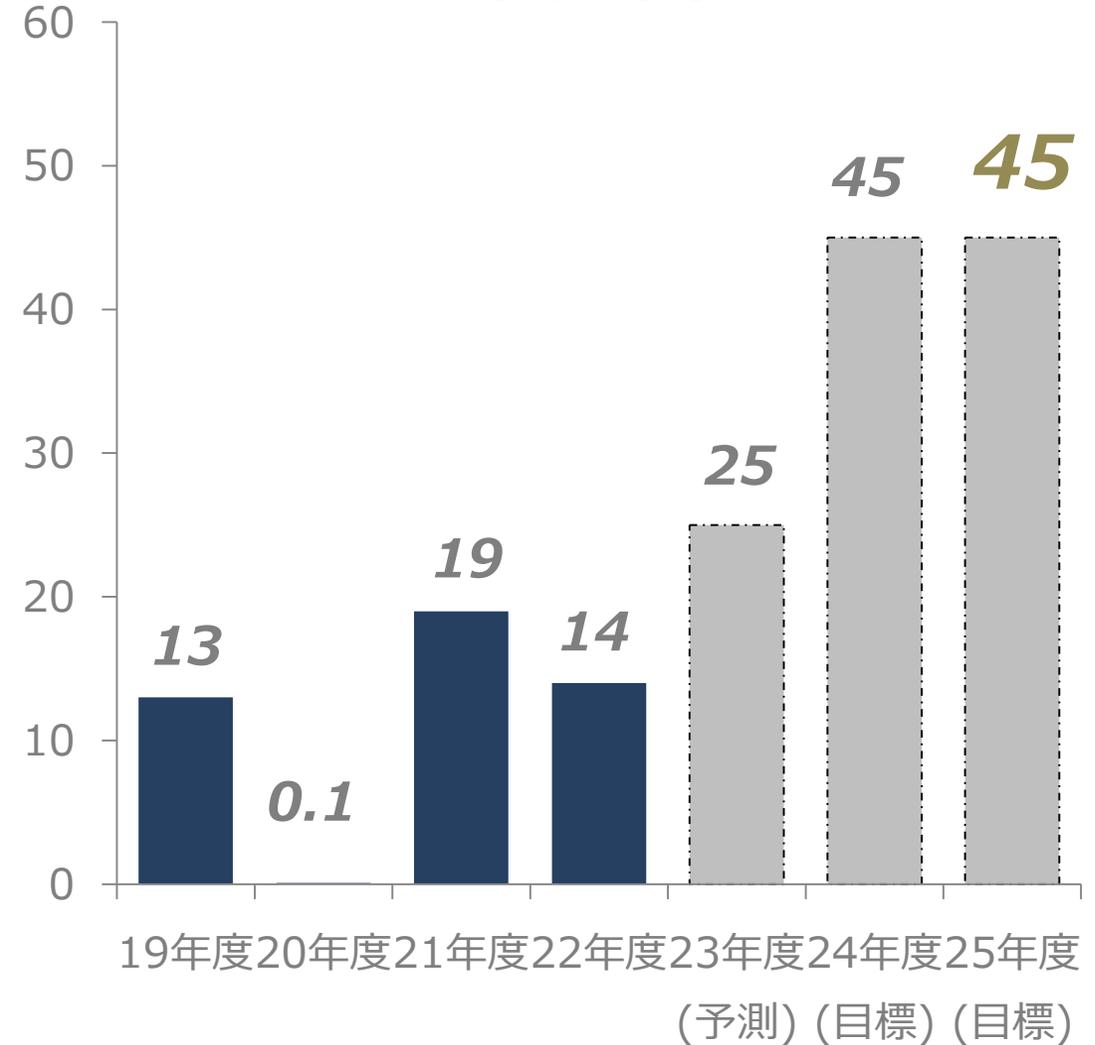
(金額：億円)

連結売上高



(金額：億円)

連結営業利益



1部： NITTAN ってどんな会社？

2部： 中長期経営ビジョン

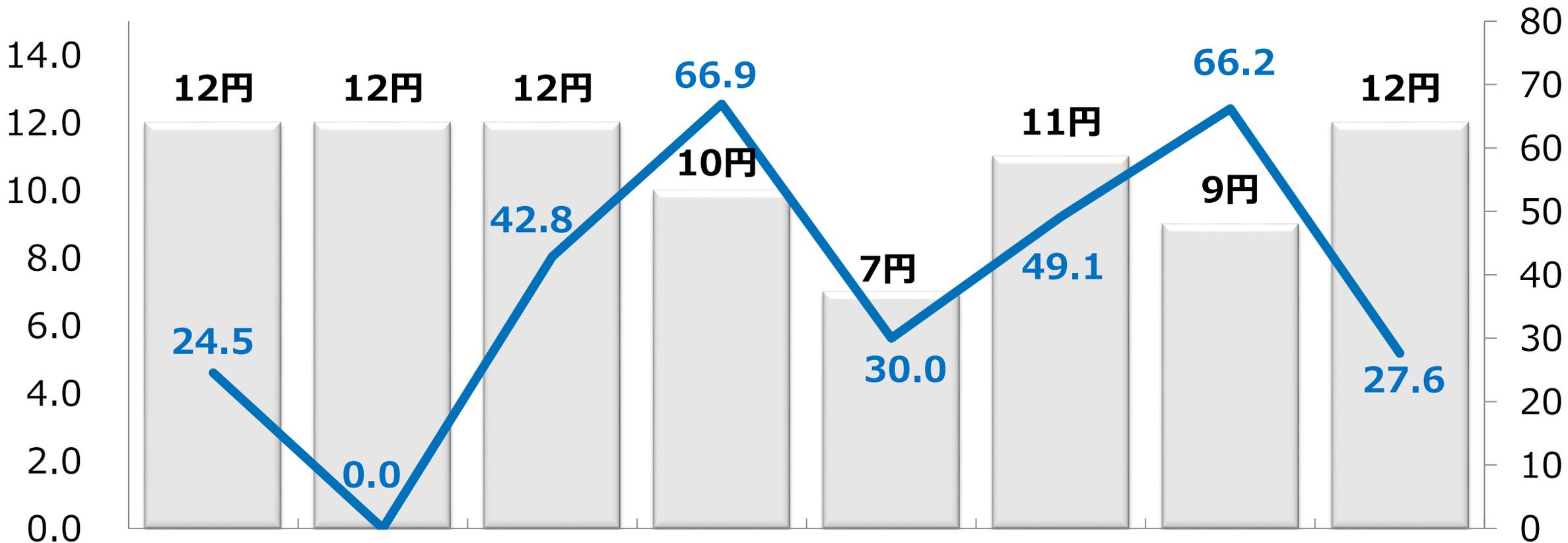
3部： 業績動向

4部： 株主還元

4-1. 配当金の推移

1株当たり配当金 (円)

配当性向 (%)



2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度(予定)

■年間配当金 —配当性向

- 株主還元の強化は、重要な経営課題と捉えており、
可能なかぎりの配当を継続的に行うことを基本としております
- 総還元性向の向上を今後検討してまいります

Challenge · Creation · Speed



NITTAN